

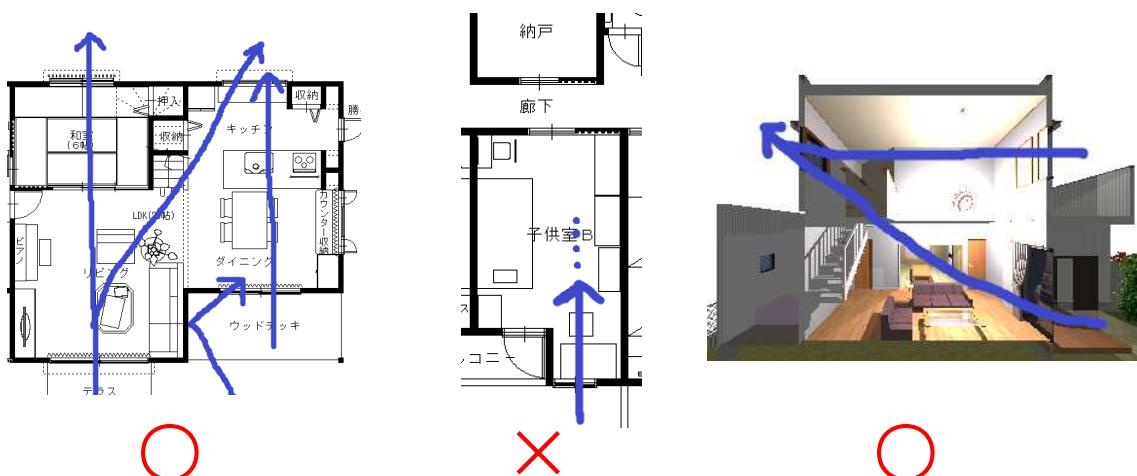
家づくりの要である住宅設計を考えてみよう（その5）

～ 風通しと換気 ～

1 通風について

室内に新鮮な空気を通すことを通風といいます。風を通すことで、室内の汚れた空気を外のきれいな空気に入れ換えるとともに、涼しさを感じることができます。

風通しを良くするには、夏の最多風向（一般的に南風・南東風）に向けて大きく窓をとることが基本です。その場合、風を取り入れる袖壁も有効になります。また、風が入ってくる窓の反対方向に、風の抜ける窓があると一層効果的です。夏の最多風向（卓越風、主風、常風）側に窓があっても、反対側に風が抜ける窓がないと風通しの効果は半減します。従って、窓の計画をするときは、必ず風の流れを考えることが大切です。



2 換気について

換気とは室内の汚れた空気を新鮮な空気と入れ替えることをいいます。換気するには自然換気と機械換気（換気扇や送風機を使用して換気を行うもの）があります。

自然換気は屋外の風圧力で換気される場合と、室内外の温度差で換気される場合があります。いずれも窓の面積を大きくすることと風の経路が大切です。

室内外の温度差で換気を良くするには、密度の低い高温の空気が室内の上部にたまりやすくなるので、換気を良くするには排気口は天井近く、給気口は床近くに設け、給排気口の距離を大きくすると効率的です。排気口と給気口が向かい合う壁にあつたら、さらに効率は良くなります。